

# お接待の心で「おもてなし」

松山市長 野志克仁



### はじめに

今年、約3000年の歴史を誇る日本最古の温泉といわれる「道後温泉」の本館が、明治27年に現在の三層楼に改築されてから120周年、昭和9年に瀬戸内海が初めて国立公園に指定されてから80周年、そして、四国八十八ヶ所霊場が開創されて1200年という松山市にとって大きな節目が

重なる年である。

これらを記念し、道後を舞台としたアートフェスティバル「道後オンセナート2014」を開催する。また、「瀬戸内海」の島しょ部や臨海部を舞台に、瀬戸内しま博覧会「瀬戸内しまのわ2014」が、愛媛、広島両県と10市町が参加して開催される。全国から来られるお客様を1200年息づいてきたお遍路さんへの「おもてなし」

となつて観光客の満足度を高め、支持される観光地・松山の形成に努めている。

### 「土佐街道と遍路道」の関わり

土佐街道は、伊予国から隣国土佐国へ向かう街道で、慶長6年（1601年）に徳川家康が東海道の伝馬制度の整備に着手し、諸街道に一里塚を築かせたことから、松山藩においても、江戸時代初期に重要藩領の久万山支配のために往来する藩士の便を図り整備された。起点は、松山城西麓の「札の辻」で、土佐国境の久万町まで12里18丁の距離であったといわれる。

諸産業の発達に伴って庶民の通行も次第に増加したが、最も頻繁に土佐街道を利用したのは、弘法



土佐街道の起点「札の辻」の標石

の心でお迎えすべく、昨年3月に「おもてなし日本一のまち宣言」を行ったところであり、地域に根付くおもてなし風土をい

かし、官民一体



旧遍路宿を修復した接待所「板本屋」

大師空海ゆかりの八十八ヶ所札所霊場を巡るお遍路さんたちで、土佐街道の多くの部分が遍路道と重なっている。四国遍路には、気候のよい時期に巡る「季節遍路」、病

苦や貧苦を背負って歩き続ける「時なし遍路」などがあり、40日ほどかけて八十八ヶ所札所霊場を巡った。中には「捨往来」と呼ばれる手形を持ち、死ぬまで歩き続けるお遍路さんもいたことから、遍路道沿いでは遍路墓を見かけることも少なくない。荷物も少なく歩き続けるお遍路さんのために「善根宿」と呼ばれる無料の宿や、「お接待」として食事や物品をお遍路さんへ施すなど、地域がお遍路さんを支える風土が今なお残っている。また、土佐街道沿いには、遍路巡礼のために地元の人々や巡礼者が自らの浄財で建立した数多くの遍路道標や常夜灯が建てられている。四国遍路は「生きていく伝統」であり、地域と共存し継承されてきた世界に誇る日本の代表的な文化資産であることから、世界遺産登録を目指している。

明治時代にかけて文人たちが旅を楽しみ、その旅の様子を紀行文に著している。その中でも、松山が生んだ俳



正岡子規が三坂峠の景観を詠んだ句の句碑

聖正岡子規が、明治14年(1881年)45番札所岩屋寺参詣を試み、「遊岩谷紀」の小文を残している。四里塚から五里塚間は、標高差400mを一気に登る土佐街道最大の難所である三坂峠があり、この峠から眺める国立公園瀬戸内海の島々と松山城を中心とした松山平野の展望は壮大で、子規は「旅人のうた登り行く若葉かな」と詠んでいる。

### 「おもてなし」から、一人でも多くの人を笑顔に

本市では、これまで司馬遼太郎氏の小説『坂の上の雲』に登場する主人公が抱いた高い志やひたむきな努力、また夢や希望をもって挑戦することの大切さをまちづくりに取り入れてきた。これは、単に新しいものを作るだけでなく、地

域で古くから培ってきたたくさん資源を最大限に活用していくこととであり、併せて全国に誇れる「松山のたから」をさらに磨きあげていく「たからみがき」のまちづくりに取り組んでいる。

土佐街道の起点にほど近く、松山城やお堀の景観が望める「花園町通り」では、車への依存を抑え、

暮らしに応じた誰もが移動しやすい「みち」として、道路空間の再配分に取り組み、回遊・滞留性にぎわいのあるまちづくりを進めているところであり、今後とも様々な分野で「おもてなし日本一」の活動を展開していく中で、一人でも多くの人に笑顔をお届けしたい。

## 一口メモ 土佐街道

### 松山札之辻と重要な松山藩領 久万山とを結んだ中予の土佐街道



土佐に向かつて延びる街道を土佐街道と呼び、中予だけでなく、東予や南予にもあった。

松山城の西麓に「札の辻」の標石が復元整備されているが、この地点はかつて松山城と歴代城主の墓所大林寺を結ぶ紙屋町通りと本町通りとの交差点にあたっていた。松山札の辻からは、松山城下と要地とを結んだ土佐街道、金比羅街道、大洲街道、今治街道、高浜街道の五街道が延びていた。

土佐街道の沿道には、常夜灯や茶屋跡、大師堂などが残り、往時の風情を今に伝えている。

企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」